

介護職員初任者研修課程 カリキュラム

クラス名 恵

通学形式 (実施しない形式を削除してください。)

研修番号	研修項目名	研修科目名	規定時間数	対面で実施する時間	演習に充てる時間(2.5時間以上)	合計履修時間数	履修日	担当講師名	講師要件番号	備考				
1	職務の理解	(1)多様なサービスの理解	6	3		3	R8.6.6		⑥					
		(2)介護職の仕事内容や働く現場の理解		3		3	R8.6.6		⑥					
2	介護における尊厳の保持・自立支援	(1)人権と尊厳を支える介護	9	6		6	R8.6.13		①					
		(2)自立に向けた介護		3		3	R8.6.27		①					
3	介護の基本	(1)介護職の役割、専門性と多職種との連携	6	2		2	R8.6.20		⑤					
		(2)介護職の職業倫理		1		1	R8.6.20		⑤					
		(3)介護における安全の確保とリスクマネジメント		2		2	R8.6.20		⑤					
		(4)介護職の安全		1		1	R8.6.20		⑤					
4	介護・福祉サービスの理解と医療との連携	(1)介護保険制度	9	3		3	R8.6.27		①					
		(2)医療との連携とリハビリテーション		3		3	R8.7.4		②					
		(3)障害福祉制度及びその他制度		3		3	R8.7.4		②					
5	介護におけるコミュニケーション技術	(1)介護におけるコミュニケーション	6	3		3	R8.7.11		①					
		(2)介護におけるチームのコミュニケーション		3		3	R8.7.11		⑥					
6	老化の理解	(1)老化に伴うところからだの変化と日常	6	3		3	R8.7.18		①					
		(2)高齢者と健康		3		3	R8.7.18		②					
7	認知症の理解	(1)認知症を取り巻く状況	6	1		1	R8.7.25		①					
		(2)医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理		2		2	R8.7.25		④					
		(3)認知症に伴うところからだの変化と日常生活		2		2	R8.7.25		①					
		(4)家族への支援		1		1	R8.7.25		①					
8	障害の理解	(1)障害の基礎的理解	3	1		1	R8.8.1		②					
		(2)障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかり支援等の基礎的知識		1		1	R8.8.1		②					
		(3)家族の心理、かかり支援の理解		1		1	R8.8.1		②					
9	イ 基本知識の学習	(1)介護の基本的な考え方	10~13	3		3	R8.8.1		①					
		(2)介護に関するところのしくみの基礎的理解		4		4	R8.8.8		①					
		(3)介護に関するからだのしくみの基礎的理解		4		4	R8.8.8		①					
	ロ 生活支援技術の講義・演習(この項目の合計時間(50~55時間)のうち半分以上は演習を行うこと)	(4)生活と家事	50~55	3	3	6	R8.8.22		①					
		(5)快適な居住環境整備と介護		3	3	6	R8.8.29		⑦					
		(6)整容に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護		3	4	7	R8.9.5		①					
		(7)移動・移乗に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護		3	3	6	R8.9.12		①					
		(8)食事に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護		3	4	7	R8.9.26		⑩					
		(9)入浴、清潔保持に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護		3	3	6	R8.9.19		①					
		(10)排泄に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護		3	4	7	R8.10.3		①					
		(11)睡眠に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護		1	2	3	R8.10.10		⑤					
		(12)死にゆく人に関連したところからだのしくみと終末期介護		2	2	4	R8.10.10		⑤					
		ハ 生活支援技術演習		(13)介護過程の基礎的理解	10~12	6			6		R8.10.24		①	
				(14)総合生活支援技術演習		3	3		6		R8.10.17		①	
10	振り返り	(1)振り返り	4	3		3	R8.10.31		⑥					
		(2)就業への備えと研修修了後における継続的な研修		1		1	R8.10.31		⑥					
	実習	【実習を実施する場合、その内容を記入】 【実習を実施する場合、その内容を記入】 【実習を実施する場合、その内容を記入】												
	修了評価		1			1	R8.10.31		⑥					
合計 ※修了評価は除く			130	99	31	130								

- (注1) 研修を行う順序は「1 職務の理解」を最初に行い、「10 振り返り」を最後に行うこと。
- (注2) 「9 ところからだのしくみと生活支援技術」については、「イ 基本知識の学習」、「ロ 生活支援技術の講義・演習」、「ハ 生活支援技術演習」の順に行うこと。
- (注3) 「9 ところからだのしくみと生活支援技術」には、介護に必要な基礎的知識の理解の確認と、生活支援技術の習得状況の確認を含む。
- (注4) 講義と演習を一体的に実施すること。
- (注5) 別紙2「介護職員初任者研修における目標、評価の指針及び研修カリキュラム」及び別紙3「介護職員初任者研修(各項目の到達目標、評価、内容)」を踏まえて実施すること。
- (注6) 修了評価(1時間以上)は全研修項目終了後に筆記試験により実施すること。
- (注7) 「1 職務の理解」及び「10 振り返り」において、施設の見学等の実習を活用するほか、効果的な研修を行うため必要があると考えられる場合には、他のカリキュラムにおいても施設の見学等の実習を活用することも可能。
- (注8) 実習を行う場合は、実習施設の機能や役割、各実習の目的及び実習についての注意事項等について、あらかじめオリエンテーションを実施すること。
- (注9) 各カリキュラム内の時間配分については、内容に偏りがないよう、十分留意すること。
- (注10) 研修課程修了まで、1年以上となる高等学校において、月日・時間の詳細が決定できない場合は、研修実施年月を記載すること。
- (注11) 研修の時間は休憩時間を除いた時間とすること。